

「ユーザーグループ、近未来譚」

これからの学術情報システム構築検討委員会
ユーザーグループ運営作業部会
安達 匠（國學院大學図書館）

ユーザーグループとは

「ユーザーグループについて」（2022年11月15日）
（システムモデル検討作業部会_安達 匠（國學院大學））

- 現在の目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）を中心とした図書館システム・ネットワークの利用機関とその図書館員等が自由に情報や意見を交換できる場です。



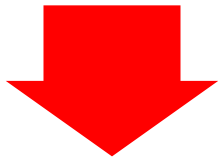
「ユーザーグループ」開始まで

1. 「これからの学術情報システム構築検討委員会」において、前2部会を再編して、2019年に
 - 「システムモデル検討作業部会」
 - 「システムワークフロー検討作業部会」の2部会が発足
2. 2022年1月「第7回システムモデル検討作業部会」で、“コミュニケーション強化モデルの提案”

「ユーザーグループ」についてこれまでの発表 ①

コミュニケーション強化のための提案

1. 国立情報学研究所主催「学術情報基盤オープンフォーラム」（2022年6月2日）
「ひろがる・つながる、その先へ：学術研究プラットフォームとこれからの学術情報システム」
「参加型でつくる大学図書館システム・ネットワーク」
システムモデル検討作業部会（公立はこだて未来大学情報ライブラリー）
栗谷禎子氏



**「情報や課題の共有、意見交換の場として、
ユーザーグループを作る」 !!**

「ユーザーグループ」についてこれまでの発表 ②

ユーザーグループの具体化

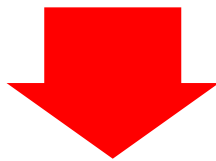
2. 図書館総合展 国立情報学研究所主催「NIIフォーラム3」（2022年11月15日）

「みんなで考えよう、これからの学術情報システムで実現を目指すこと」～これからのメタデータの在り方とそれを支えるコミュニティ～

「ユーザーグループについて —ユーザーグループが始まります—」

システムモデル検討作業部会（國學院大學図書館）

安達 匠



「ユーザーグループ試行版の稼動」

ユーザーグループの役割・メリット

- これからの学術情報システム構築検討委員会、「（大学）図書館システム・ネットワーク」の参加機関とそこに所属する職員が、機関、地域、担当を越えて、意見や情報の交換を行う。
- 各機関が抱える課題や要求が顕在化され、共通課題の解決を図ることができる。
- 継続することで、学術情報コミュニケーションに関わる人材の育成、能力開発の場となる。

「参加型でつくる（大学）図書館システム・ネットワーク」（2022年6月2日）
（システムモデル検討作業部会_栗谷禎子（公立はこだて未来大学））

ユーザーグループの活動

- SNS（Discord）での情報交換・意見交換
- オンラインイベント（ワークショップ・講習会等）
- ユーザーグループ発議で新たな作業部会を発足

ユーザーグループ

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/usergroup>



「ユーザーグループについて」（2022年11月15日）改
（システムモデル検討作業部会_安達 匠（國學院大學））

【ユーザーグループ：本運用】

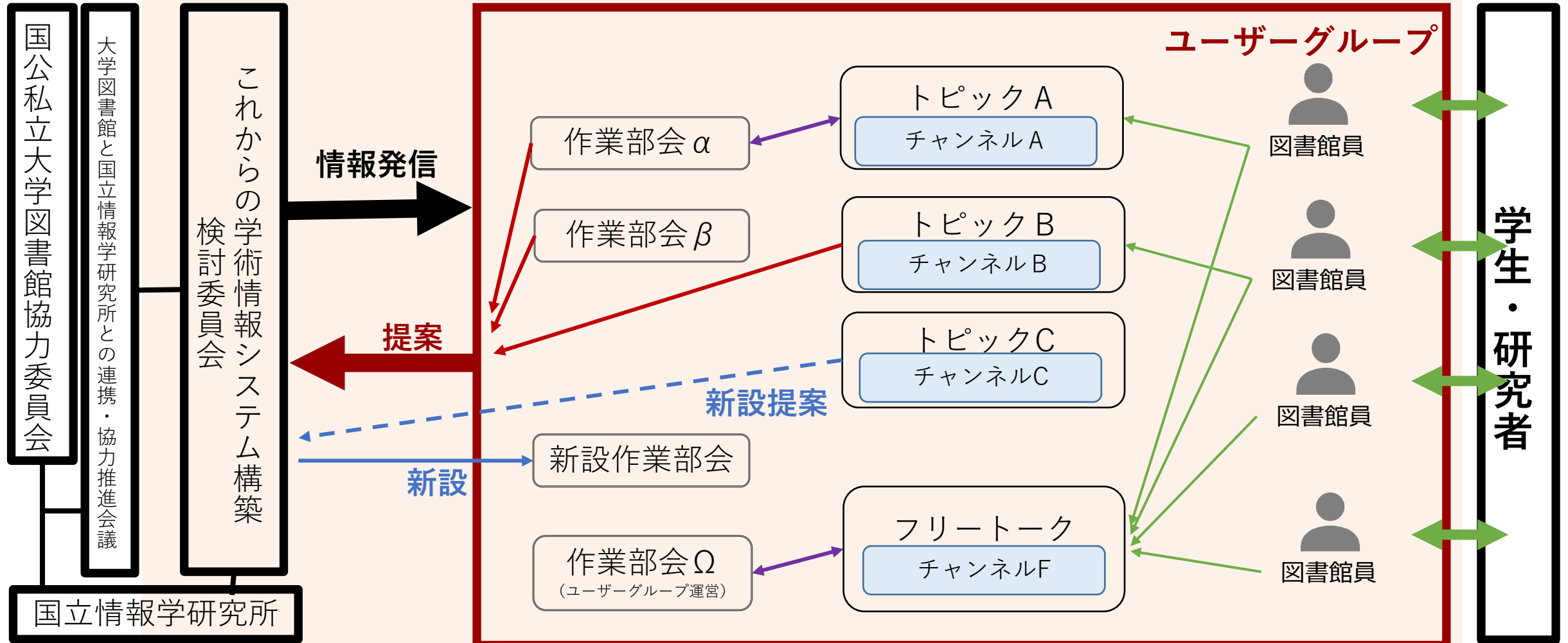
「ユーザーグループについて」（2022年11月15日）
（システムモデル検討作業部会_安達 匠（國學院大學））

図書館システム・ネットワーク

←→ テーマによる関連

← 提案

← 提案に基づく作業部会設置



ユーザーグループ本運用まで①

SNS「Discord」

1. 「これから委員会ユーザーグループ（仮）」として
のサーバー立ち上げ 2022年9月1日
2. チャンネルの最初の書込み（#フリーストーク）
2022年10月6日
3. 図書館総合展「NIIフォーラム3」試行開始！ 2022年
11月15日
4. NII「学術基盤オープンフォーラム2023」本稼動宣言！
2023年5月29日

ユーザーグループ本運用まで②

図書館総合展「NIIフォーラム3」2022年11月15日

ワークショップ：

「みんなで考えよう、これからの学術情報システムで実現を目指すこと」

Gather.town（ビデオチャットプラットフォーム）

- ① 【NCR2018】 ROOM
- ② 【メタデータ & 共同調達・運用】 ROOM

ユーザーグループ本運用まで③

国立情報学研究所「学術基盤オープンフォーラム2023」

これから委員会トラック

「ひろがる・つながる、その先へ：共同・協働のネットワークで届ける学術の知」

2023年5月29日

Discordを継続して運用

- 委員会メンバー・部会メンバーから積極的に発信を行い、新陳代謝により活性化させる
 - ✓ ユーザーからの提案を汲み取れるように運用の活性化
- ファシリテーター
- 「ユーザーグループ運営作業部会」が担当
 - ※ 「システムモデル検討作業部会」から発展的改組

ユーザーグループの現在

SNS 「Discord」

- 登録者数： 337名（10月10日現在）
- 稼動チャンネル
 1. 国内電子ブック & デジタルアーカイブのメタデータ流通促進（新規）
／ メッセージ未稼動
 2. 日本目録規則2018の適用について（旧洋書適用） ／ メッセージ36件
 3. Dx化時代の図書館システムガイドライン ／ メッセージ未稼動
 4. news_bot_cat/ill_これから委員会（配信のみ） ／ メッセージ52件
 5. フリートーク ／ メッセージ95件

ユーザーグループ、近未来譚①

この後の、「ユーザーグループSNSイベント」

- 本日15:15以降（予定 ※一部、別日開催の可能性あり）
- オンライン開催
- 参加条件：
図書館システム・ネットワークのユーザーグループのメンバーであり、SNSにアカウントを作成していること
※事前申し込み不要

ユーザーグループ、近未来譚①-2

「ユーザーグループSNSイベント」詳細

1回目（15：15～ ）

- ①メタデータ流通の高度化検討について（NCR2018等）
- ②図書館システム整備について

2回目（16：15頃～ ）

- ③国内電子・デジタル資料検討について
- ④統合的発見環境の整備について（ILL等）

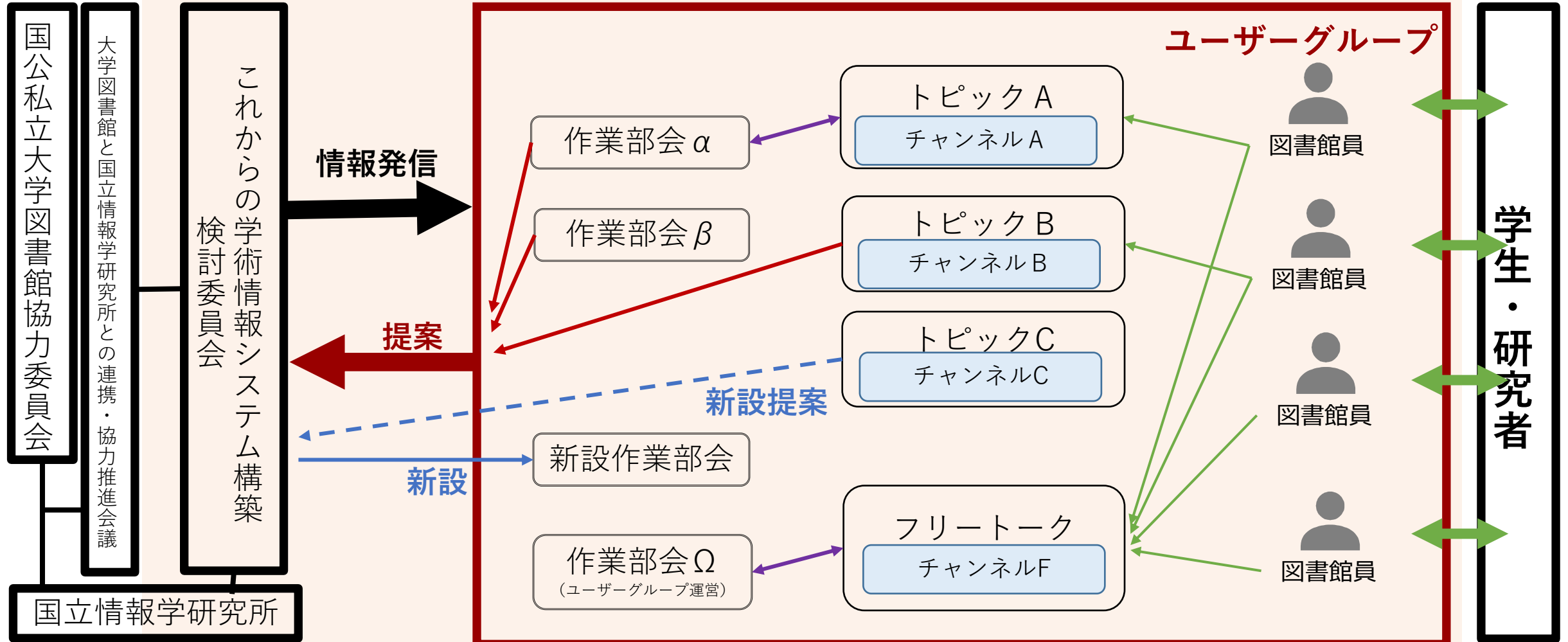
※再掲 【ユーザーグループ：本運用】

図書館システム・ネットワーク

←→ テーマによる関連

← 提案

← 提案に基づく作業部会設置



ユーザーグループ、近未来譚②

ユーザーグループツール：SNS 「Discord」

• 稼動チャンネル

1. 国内電子ブック & デジタルアーカイブのメタデータ流通促進（新規）
2. 日本目録規則2018の適用について（旧洋書適用）
3. Dx化時代の図書館システムガイドライン（旧共同調達）
4. 統合的発見環境の整備（予定）
5. news_bot_cat/ill_これから委員会
6. フリートーク

ご清聴ありがとうございました。